



平成20年9月12日

各 位

会 社 名 株式会社ダイエー
代 表 者 名 代表取締役社長 西見 徹
(コード番号 8263 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経理本部長 白石 英明
(TEL. 03-6388-7335)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年4月11日に公表した平成21年2月期の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年2月期業績予想の修正(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結中間期 (平成20年3月1日～平成20年8月31日)

(単位: 百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|------------------------------|---------|---------|---------|--------|
| 前回発表予想 (A) (平成20年4月11日発表) | 523,000 | 7,000 | 4,000 | 2,000 |
| 今回修正予想 (B) | 523,000 | 2,700 | 1,300 | 2,300 |
| 増減額 (B-A) | — | △ 4,300 | △ 2,700 | 300 |
| 増減率 (%) | — | △ 61.4 | △ 67.5 | 15.0 |
| (ご参考) 前期(平成20年2月期中間期)実績 | 600,381 | 5,155 | 1,383 | 46,033 |

(2) 連結通期 (平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位: 百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------------|-----------|---------|---------|---------|
| 前回発表予想 (A) (平成20年4月11日発表) | 1,050,000 | 18,000 | 12,000 | 4,000 |
| 今回修正予想 (B) | 1,050,000 | 9,000 | 5,000 | 1,000 |
| 増減額 (B-A) | — | △ 9,000 | △ 7,000 | △ 3,000 |
| 増減率 (%) | — | △ 50.0 | △ 58.3 | △ 75.0 |
| (ご参考) 前期(平成20年2月期)実績 | 1,196,011 | 14,442 | 8,629 | 40,210 |

(3) 個別中間期 (平成20年3月1日～平成20年8月31日)

(単位: 百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|------------------------------|---------|---------|---------|--------|
| 前回発表予想 (A) (平成20年4月11日発表) | 420,000 | 3,000 | 4,000 | 3,000 |
| 今回修正予想 (B) | 418,700 | 200 | 1,700 | 2,500 |
| 増減額 (B-A) | △ 1,300 | △ 2,800 | △ 2,300 | △ 500 |
| 増減率 (%) | △ 0.3 | △ 93.3 | △ 57.5 | △ 16.7 |
| (ご参考) 前期(平成20年2月期中間期)実績 | 417,340 | 1,043 | 684 | 47,337 |

(4) 個別通期 (平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位: 百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 前回発表予想 (A) (平成20年4月11日発表) | 840,000 | 9,000 | 9,000 | 5,000 |
| 今回修正予想 (B) | 840,000 | 3,000 | 4,000 | 500 |
| 増減額 (B-A) | — | △ 6,000 | △ 5,000 | △ 4,500 |
| 増減率 (%) | — | △ 66.7 | △ 55.6 | △ 90.0 |
| (ご参考) 前期(平成20年2月期)実績 | 836,008 | 1,410 | 779 | 33,136 |

2. 修正の理由

[中間期]

(連結)

当上半期におきましては、ガソリン価格の高騰や諸物価上昇による生活防衛意識の高まりの影響により、小売業を取り巻く環境は厳しいものとなりました。

営業収益につきましては、個人消費の冷え込みによる衣料品専門店子会社の売上不振に加え、業界全体の不振によるアミューズメント子会社の売上が当初計画を下回る一方、食の安心安全意識の高まりに伴う内食化の傾向により、SM子会社が当初計画していた売上を上回る見込みであるため、当初公表は修正いたしません。

営業利益につきましては、個別の修正に加え、主に衣料品専門店子会社及びアミューズメント子会社の売上不振に伴い当初計画を下回るため、43億円下方修正し27億円となる見通しです。

経常利益につきましては、営業利益を43億円下方修正するものの、営業外損益を保守的に見積もっていたため、27億円下方修正し13億円となる見通しです。

中間純利益につきましては、経常利益が当初公表より減少するものの、マルエツ株式売却益等により23億円となる見通しです。

(個 別)

営業収益につきましては、SM子会社に対する商品供給売上が当初計画を上回るものの、小売売上が計画を若干下回っているため、13億円下方修正し4,187億円となる見通しです。なお、小売売上がにつきましては、消費の冷え込み等により衣料品及び生活用品は売上不振でありましたが、食料品は、トップバリュの導入や競合対抗の強化等により客数・買上げ点数が増加し、前年を上回っております。

営業利益につきましては、利益率の高い衣料品及び生活用品の売上不振により当初計画していた荒利益を下回る見込みであることと、ローコスト施策の推進により販管費の削減は計画通り進んでいるものの、原油高騰の影響による包装資材や水道光熱費等のコスト増が見込まれるため、28億円下方修正し2億円となる見通しです。

経常利益につきましては、営業利益を28億円下方修正するものの、営業外損益を保守的に見積もっていたため、23億円下方修正し17億円となる見通しです。

中間純利益につきましては、経常利益を23億円下方修正するものの、マルエツ株式売却益等により25億円となる見通しです。

[通 期]

(連 結)

下半期におきましても、原材料価格の高騰や個人消費の低迷など、依然として小売業を取り巻く環境は厳しさが続くものと思われまます。

営業収益につきましては、上半期と同様に衣料品専門店子会社の売上不振が想定されるものの、好調なSM子会社の売上状況等を勘案し、当初公表は修正いたしません。

営業利益につきましては、個別の修正に加え、上半期と同じ状況が想定されるため、90億円下方修正し90億円となる見通しです。

経常利益につきましては、営業外損益を保守的に見積もっているため、70億円下方修正し50億円となる見通しです。

当期純利益につきましては、30億円下方修正し10億円になる見通しです。

(個 別)

営業収益につきましては、上半期と同様に食料品が堅調に推移している状況であるため、当初公表は修正いたしません。

営業利益につきましては、上半期の環境与件が続き、原材料価格高騰の影響による荒利益の悪化や原油高騰による経費の増加等が想定されるため、60億円下方修正し30億円になる見通しです。

経常利益につきましては、営業外損益を保守的に見積もっているため、50億円下方修正し40億円になる見通しです。

当期純利益につきましては、45億円下方修正し5億円になる見通しです。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上